

大好きなバレーボール

六年 深澤さん

私は、小学校二年生の時にバレーボールのスポーツ少年団に入りました。

始めるきっかけは、二歳上の姉の練習を見に行ったことです。

初めは、あまり何も感じてはいませんでした。だが、何度も回数を重ね、見ているうちに、とても楽しそうに活動していて、私もやってみたいと思い、バレーボールを始めました。

初めての練習は、ボール遊びからでした。いろいろなボール遊びがあり、初めての時はできなかつたことも、練習を通して少しずつできるようになり、練習に行くのがとても楽しかったのを覚えています。

また、年上のお姉さん達がとても優しく、分からないことがあったら、ていねいに教えてくれたので、休まず練習に参加することができました。特に、私が入団した時には、同じ学年の友達が一人もいなかったのでも

さびしかったのですが、姉や他の学年のお姉さん達が、いつも一緒にいてくれて、さびしい気持ちはいつの間になくなっていました。こうして初めての楽しい練習の日々は、あつという間に過ぎていきました。

四年生になると、ゲーム形式の練習にも少しずつ参加させてもらえるようになりました。始めのうちはとてもきん張してどうしていいのかわからなくてプレーを止めてしまうこともたくさんありました。そんな時には、同じコートに入っているお姉さん達が、優しく声をかけてくれたり、どうしたらいいのかを教えてくださいたりしました。おかげで私は、とても安心してコートでのびのびとプレーすることができるようになりました。そして、早くお姉さん達と本番のコートに立ってバレーボールの試合をしてみたいと思うようになりました。

四年生の終わり頃に、いつも一緒に練習に通っていた姉が卒団してしまいました。とて

もさびしい思いをしました

しかし、五年生になった私は、レフトのア
タッカーというポジションを任されるよう
になりました。また、副キャプテンとしてキャ
プテンを助け、一緒にチームをまとめ、試合
に勝てるように一生けん命に取り組んでいこ
うと胸をわくわくさせていました。ところが、
身長が低い私にとって、アタッカーというポ
ジションは大変なことばかりでした。ボール
に合わせてタイミングよくジャンプができな
かったり、思うようにアタックが打てなかつ
たりと、もっと練習をして上手にならなけれ
ば、と改めて思いました。それからは、身長
が低くてもアタックを打とうと、ジャンプの
仕方を工夫したり、トスのタイミングに合わ
せて跳んだりと、毎日いろいろな方法で練習
を積み重ねました。そして、練習を重ねてい
くうちに少しずつ強いアタックが打てるよう
になっていきました。

五年生の終わり頃には、今まで一緒に戦っ

てきた六年生のキャプテンも卒団してしまいました。

私が六年生になると、新キャプテンとして新しいチームを引っ張っていくことになりました。キャプテンになると聞いた時、チーム内に同学年のメンバーが一人もいないので、私はとても不安になりました。しかし、大好きなバレーボールのためです。チームの皆とボールをつないでいき、チームワークを大切にしながらがんばっていかうと決心し、自分をふるい立たせました。

ポジションでは、レフトの時よりも守備は人囲の広いセンターというポジションを任せられました。相手の攻げきを防ぎながら、指示の声を出し、自分でも攻げきをしなくてはいけないので、とても責任があり、やりがいのあるポジションです。このポジションはとても難しく、まだまだ慣れませんが、今は自分の役割をしっかり果たすことで皆でボールをつないで強いチームにしていかう、メンバー

同士で力を合わせて練習していこう、という
気持ちでがんばろうと決心しました。

私にとって、今年は小学生としてプレーで
きる最後の年です。キャプテンとして、一人
のバレーボールが大好きな選手として、後か
いしないようにしたいと思います。皆で声を
出し合い、一つのボールをチームの皆でつな
ぎ、一試合でも多く勝てるように力を合わせ
て練習にはげんでいます。今までの先ばい方
から学んだことを生かして最後までがんばり
たいと思います。

私は、一つのボールを皆で協力して、拾っ
て、つないで、返していくバレーボールとい
うスポーツが大好きです。だから、中学生に
なっても姉と同じバレーボール部へ入部した
いと思っています。そして、大好きなバレー
ボールを新しい仲間と一緒に続けていきたい
と思っています。そのためにも、今のチーム
の皆で毎日の練習をがんばっていききたいです。

明日に向かってがんばれ、私。